

【昨年度の 研修主題】

ともに学び合う喜びをもとに、思考を深める生徒の育成

～協働的な学びを支える、課題設定を通して～

【「ともに学び合う喜び」についての昨年度の振り返り】



【「ともに学び合う喜びを感じる生徒の姿」】

「友だちの意見をメモしたノートや授業の感想に、自分と違う意見を知ることの楽しさなどが記述されていた。（〇〇先生）」

「生徒は話し合いをすることを望んでいて、教えたり教えられたりすることから得られる喜びを知っている。だから「話し合って」というとすぐに話し合いがはじまる。（〇〇先生）」

【「思考を深める」についての昨年度の振り返り】

【生徒の思考は深まりましたか？】

「深まるという点ではもう一步課題が残っていると思います。（〇〇先生）」

「協働的な学びをすることは多いですが、意識的に課題を設定しないと学び合うことや思考を深められる授業はできないと感じました。（〇〇先生）」

「理科の有用感を実感できるような課題設定をして、ワクワクする授業作りをしていきたいと思いました。（〇〇先生）」

【課題】

①どのような視点（方法）で協働すると思考が深まるのか？

②「思考が深まった生徒の姿」を教師が授業前に思い描けていたのか？



【令和7年度 研修主題】

ともに学び合う喜びをもとに、思考を深める生徒の育成
～思考が深まった生徒の姿を明確に描いた、協働的な学びを通して～

昨年度の成果と課題を受けて、上記のように研修主題を設定しました。ポイントは、①深い学びにつなげるために各教科の見方・考え方を働かせること、②思考が深まった生徒の具体的な姿を授業者が授業前に明確に描き、その姿から逆算して授業を設計していくことです。